

「アートとしての数学」<http://homepage1.nifty.com/haniu/nuas/index.html>

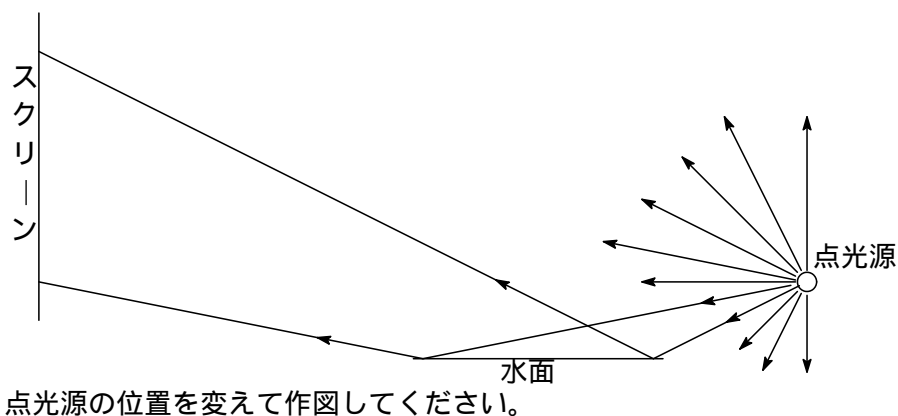
水面反射映像

「映像」とは何だろうか？ 普通、テレビでもパソコンでも映画スクリーンでも、何かの形やお話しが画面に映っていれば「映像」と言われている。では、水面に映る景色は映像だろうか？ 元の景色が水面に反射して形を見せているのだから、映像と呼んでよいと私は考える。ここで、「映像」という言葉を、思い切り広い意味で取って、「映像とは、光と影が作る運動と造形」としておく。

映像をこの意味で決めると、たとえば、今、我々が目で直接見ている教室の風景やとなりの人の姿も「映像」になってしまう。これでは、映像の意味が広すぎると言われるだろうが、ここでは、あえて、目で見える現実の姿も「映像」といってしまおう。なぜ、そうするかというと、我々は、パソコンのモニターのような四角い機械に映る絵ばかりを「映像」と思いがちで、そのような狭すぎる思い込みを、一度打ちこわしておきたいからである。

さて、上記の意味の「映像」で注目できる例として、前回取り上げた「交差する2本の棒（やゴムひも）の運動が生む映像」があるし、今回取り上げる「水面反射映像」もある。

水面反射映像の作図



スクリーン

水面